

手仕事を楽しむ

南丹市工芸家協会展

2019.7.2~8.4

みて、ふれて、そして自分の作品をつくる
実演とワークショップ
スケジュール

土日は工芸家になって
 眠る才能を開花させましょう！
 夏休みのお子さまの工作にも最適。

7/20
Sat

■ ロクロを使ってお茶碗をつくる 熊本 一哉・井上 啓



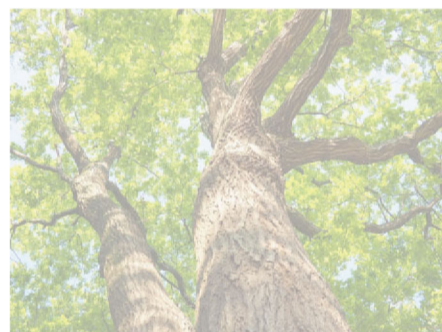
ろくろという道具を使って、コップや
 ご飯茶碗、おやつ入れ、お皿をひとつ
 作ってみましょう！実際に作ってみて
 もらいます。さて、上手に作れるかな？！
 さあチャレンジしよう！！
 参加費 1,500 円

■ お盆をつくる 実演のみ

中川 勝之



日常に寄り添う木のぬくもり。
 「榎の木で銘々皿」「銘々皿」



7/28
Sun

■ 枝豆の形の皿をつくる

櫻井 靖泰



当日は枝豆皿（枝豆の形をした皿）を
 作ります。タタラ成形（土を板状にし
 たもの）で作ります。石膏で作った内
 型と外型の2つの型で砂を入れた袋で
 叩いたりして作っていきます。
 色目は6種類から選んで頂きます。
 所要時間は30分 参加費 2,500 円

■ 陶土でフクロウを形づくり 実演のみ

羽倉 正



主にフクロウの陶製の置物をつくる事
 事をしていきます。今回はその工程の中
 の陶土から焼く前の原型をつくるまで
 の様子を実演させて頂きたいと思いま
 す。御高覧いただければ幸いです。

■ 掻き落としと置物づくり 実演のみ

澤田 卓伸



鉄絵（酸化鉄）を用いて、掻き落とし
 をしています。動物や昆虫、鳥をモチ
 ーフに一点一点絵付けをしています。

7/21
Sun

■ ロクロを使ってお茶碗をつくる

長元 宏



土と泥を感じながら電動ロクロでお茶
 碗を作ってみませんか。お手伝いしま
 すので、子供たちでも大丈夫。汚れて
 も良い服で来て下さい。
 体験時間 30分程度。参加費 1,500 円

■ 型を使って四角い皿をつくる

林 益郎



板状になった粘土を、石膏型に押し付
 けて、四角いお皿を作っていました。
 素焼の花文様などのハンコをつか
 かって、文様をつけていただけます。
 お気軽にご参加ください。
 10cm くらいの小皿2枚。
 所要時間約 25分 参加費 2,000 円

■ 繭から糸を引いて生糸をつくる 実演のみ

染川 淳子



生糸は蚕が繭をつくるために吐いた一
 本の糸をそのまま解いてできたもの
 です。繭を煮て、座繰り機を使い木枠に
 糸を巻き取っていきます。生糸が命か
 らできたもので、どのようにつくられ
 ているのかがよくわかると思います。
 繭は胡麻郷小学校で昨年飼っていた蚕
 が卵を産み、今年春、孵った蚕を譲り
 受けて育てたものです。午前中は繭か
 ら糸を引く座繰りの作業。午後は糸を
 木枠からかき上げる作業になります。

8/3
Sat

■ 絹のくみいどを使ってネックレスをつくる

吉良 學



たくさん色の中から好きな絹糸を選
 んで組み合わせます。細幅の「くみい
 ど」とリングをセットしてネックレス
 を作ります。小学校高学年以上向けの
 2時間ほどのコースです。
 7/31 までにお申し込み下さい。
 また、工房での体験もしていただい
 ますのでこちらもお問い合わせ下さい。
 参加費 1,500 円

7/中 ~ 下旬

■ 蓮の花を観る

増田 登志寿

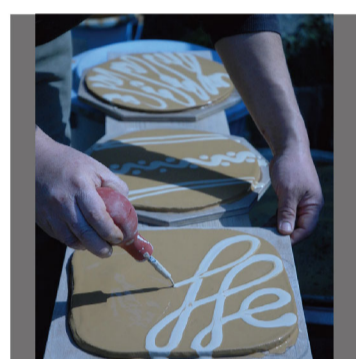


7月に入ると我が家の蓮が紅、白、斑
 と咲き始めます。風がそよぐとふんわり
 香りが漂って来て、ちょっと優雅な
 気分。小さな蓮池もありますが、ひと
 つづつ品種別に鉢に植えていますので、
 直ぐそばで花を見ることが出来ます。
 AM9:00 ~ PM3:00 まで自宅で陶芸作
 品と一緒に蓮花を公開しております。
 美術館から近いので是非お立ち寄り
 ください。鉢に植えた蓮花も販売して
 おります。

7/27
Sat

■ スリップウェアの紋様を描く

前野 直史



スリップウェアとは手仕事の時代のヨー
 ロッパの陶器で用いられた、2色の泥を
 使って紋様を付ける技法です。
 このワークショップは普段作品制作に使
 っているのと同じ原料と工程によって当
 日は18センチほどのお皿に紋様を描き
 ますが、後日のぼり窯で焼き上げて完成
 まで仕上げます。また原料と工程の違
 いより仕上がりの早いコースも2500円
 に準備します。いずれも所要時間は30
 分程度で予約なしで参加可能。
 参加費 4,320円・2,500円

■ ひじやひじで器づくり

市村 サントシャ



「ザ・ボディ・陶芸」
 ずっとずっと太古の昔から、ヒトは土に
 触れてきました。大昔の人間がこうや
 って器を作ったとしてもちょっと不思議
 ではありません。タイムスリップした気
 分で、プリミティブに、クリエイティブに、
 自分の身体を使って器を作ってみませ
 んか。ヒジ？ヒジ？それともアタマ？
 参加費 3,000 円

■ 砥草(トクサ)でみがく木のカタラー

住谷 考蔵



「紙やすり」が誕生する以前、職人た
 ちは様々な自然素材を使って木を磨い
 ていました。例えば、絞皮、トクサ、椋
 の葉、桃の実などが使われていたそう
 です。今回はトクサと椋の葉を使って、
 木のスプーンやバターナイフなどのカ
 タラーを磨く体験を行います。30分
 ほどかけて磨きと蜜蝋塗りをしてい
 だき、その日にお持ち帰りいただけます。
 参加費 1,000 円

- 実演・ワークショップ開催時間 / 10:00am~ 3:30pm
- 都合によりスケジュールを変更する場合がございます。
ご来館前に電話・ホームページ等でご確認ください。
- 南丹市在住のお子様（中学生まで）の参加費は500円OFF。
- 展示作品のご購入もいただけます。
- ワークショップで作られた作品の送料は別途必要です。
- ワークショップのお申込み・お問合せ
美山かやぶき美術館 TEL.0771-75-1777



- 開館時間 10:00~16:30
- 月曜日休館（祝日の場合は翌日）
- 入館料（乳幼児無料）
美術館・郷土資料館共通 500円
美術館のみ 300円
小学生は共通 200円のみ取扱い

美山かやぶき美術館・郷土資料館

京都府南丹市美山町島村ノ木 21

<http://miyama-kayabuki.org>